

Rice Lodge Ohgata

提携米通信

2012年5月号・黒瀬農舎



4月3日、4日の暴風で我が村では200棟・2万坪を超えるパイプハウスが根こそぎ倒壊。骨組みまでグチャグチャ。

暴風お見舞感謝！

でも幸運にも被害は軽微でした。

先月・4月2日から全県各地を襲った暴風は、半地帯でも3日、4日と長時間吹き荒れました。

皆さんのご家庭では、被害はありませんでしたか。お見舞申し上げます。

私たちの村の防風林では、幹廻り-抱えを超える大きなポプラや黒松が1000本位も折れたり、根っこから倒されました。

また、種蒔き時期が迫っていたため、8割余りの農家が育苗月のパイプハウスのビニールを掛け終わっている時期でした。

そのパイプハウスに、何年も使って強度が弱ったビニールを使ったり、作業が雑な農家のパイプハウスは、全戸のような強風では、吹き出した1、2時間でビニールは千切れたり、剥ぎ飛ばされました。

ところが、新調間もない丈夫なビニールを使って、少々の風では飛ばされないように丁寧な仕事を行った農家のパイプハウスは、あまりの強風によって倒壊し骨組みまでグチャグチャになりました。

我が家の場合は、農薬や化学肥料を使わないお米作りを行っていることで、育苗は、ビニール保温するパイプハウスは使わず、露地で浅く水を張るプール育苗方式を行っていますので、この雨での被害は全くありませんでした。

我が村の甚大被害がTVニュースで何度も放映されたため、多くの方からお見舞のメールや電話をいただきました。ありがとうございました。

我が家の被害は、お米の倉庫のシャッターが飛ばされただけで済みました。シャッター屋さんにも順番待ちや材料不足のため、自分で2日掛けて直しました。

提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

ライスロッジ大潟 代表 黒瀬 正

TEL: 0185-45-3088 FAX: 45-2887



E-mail: akita@kurose.com Web:

提携米 黒瀬農舎

検索

今年のお米作りがスタートしました。

ご家庭のように我が農舎では長年、化学肥料だけでなく、できるだけ農薬を使わないお米作りを行っています。今年はお米作りのスタート時期でもありますので、無農薬、無化学肥料の苗作り作業の一部を紹介します。



温湯消毒 60℃10分

種料の消毒（種子の温湯消毒）

農薬を使わないため60℃前後のお湯に10分程度漬けて、直ぐに冷水で冷やします。

温度が1、2℃上下したり、浸す時間が2、3分前後すると、消毒効果が落ちたり、発芽障害が出ます。これは品種により微妙に加减する必要があり、気を遣う作業です。

市販の100～200kgの温湯消毒器では、1度に種料を20Kgも入れれば、お湯の温度が下がるなどの問題がある。そこで、1000kgのポリ桶と、古いお風呂用の灯油ボイラーをポンプで繋いだ消毒装置を自作しました。

種料の催芽

温湯消毒後、数日冷水に漬けた種料を、種蒔き直前に催芽機で1ミリ程度催芽させます。これも、市販の機械は高価な上に、容量が小さいという下部分があります。そこで、300Kg余りの催芽が1度で出来るように催芽機を自作しました。

1000kgのポリ桶と、下燃物廃棄場で拾ってきた夜間電気温水器のヒーターとポンプや温度センサーを組み合わせて、湯温を常に30℃になるように工夫した傑作です。



催芽装置 30℃30時間



種蒔き作業

種蒔きと芽出し

プラスチック製の苗箱に1kg程度床土を入れ、水を打って、種を播き、薄く覆土する播種作業を行います。

その後、お米の出荷作業に使っている保冷庫を室に利用して、苗箱を積み上げ30℃の室温で2晩置き、1kg程度に芽を出させます。

30℃の保温には、家庭用の少し大きめのFF灯油

ストーブの口をオークションで手に入れ利用しています。



室で芽出し 30℃で二晩



露地のプール育苗方式

育苗（プール方式の苗代）

露地にビニールシートを敷き、その上に室で1センチ程度に芽を出させた苗箱を並べ、周囲を囲み、浅く水を張る。

—露地プール育苗の利点—

- ①日中暖まった水によって夜間の低下を防ぐ。
- ②苗を厄菌病原菌の繁殖を、苗床に水を張ることで嫌気状態にすることで抑える。
- ③ビニールハウスなどで暖めず、露地に置くことで丈夫な苗になる。これらにより農薬を使わない育苗ができる。